

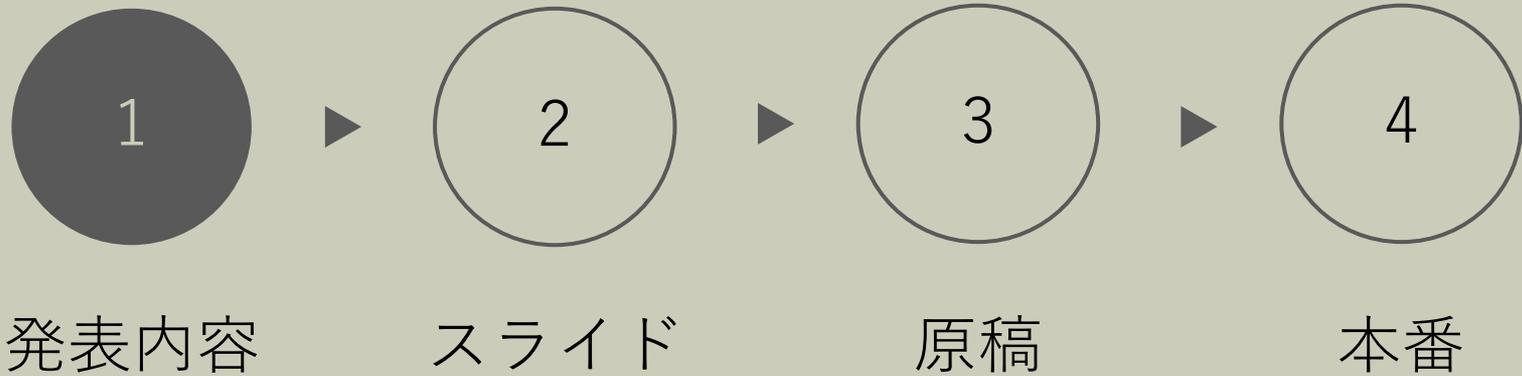
若者提案プロジェクト補助金説明会「プレゼンのコツ」

補助金を勝ち取るための 負けないプレゼン術

2021年8月28日(土)

ながおか・若者・しごと機構
理事 薄田 達哉

目次



自己紹介

- 名前 薄田 達哉 | ススキダ タツヤ
- 生年月日 1987年8月27日 | 34歳
- 職業 フリーランスのプログラマー
- 出身 北海道恵庭市
- 長岡歴 14年 | 高専→技大へ進学

発表内容① | 内容は申請書そのままOK



- 目的、概要、実施内容など
- 想いや意気込みは少しまでOK

発表内容② | 自己紹介をする



- 名前、生年月日、職業など
- 申請内容との関連があれば◎

目次（再掲）



スライド目次

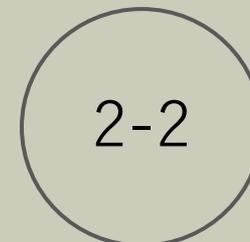


スライド



構成

- 1分1枚
- 表紙
- 目次
- まとめ



デザイン

- タイトル
- ページ番号
- 文章ぎっしり

スライド → 構成① | 1分1枚を目安にする



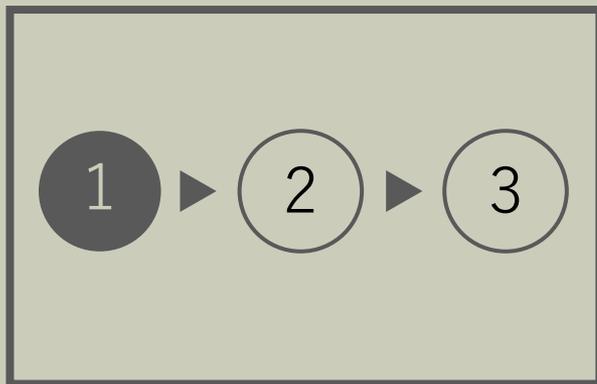
- 審査会では7分なので合計7枚
- 表紙などを入れて10枚以下

スライド → 構成② | 表紙ページを設ける



- 設ける位置は1ページ目
- タイトル、発表日、氏名

スライド → 構成③ | 目次ページを設ける



- 設ける位置は2ページ目
- 区切りごとに再掲すると◎

スライド → 構成④ | まとめページを設ける

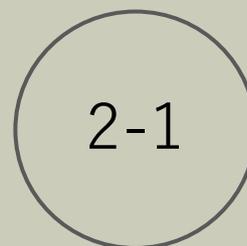


- 設ける位置は最後のページ
- 発表内容を要約する

スライド目次（再掲）



スライド



構成

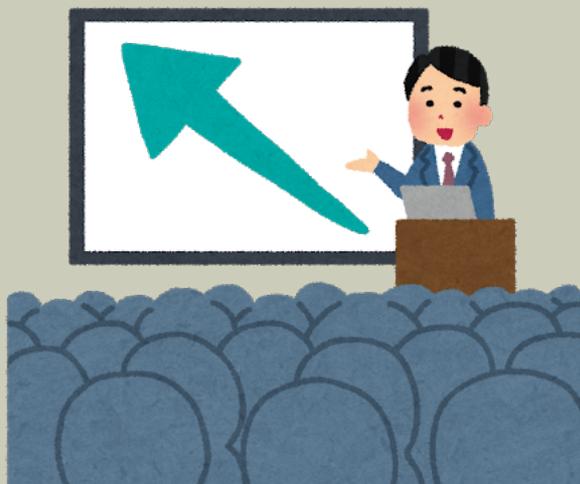
- 1分1枚
- 表紙
- 目次
- まとめ



デザイン

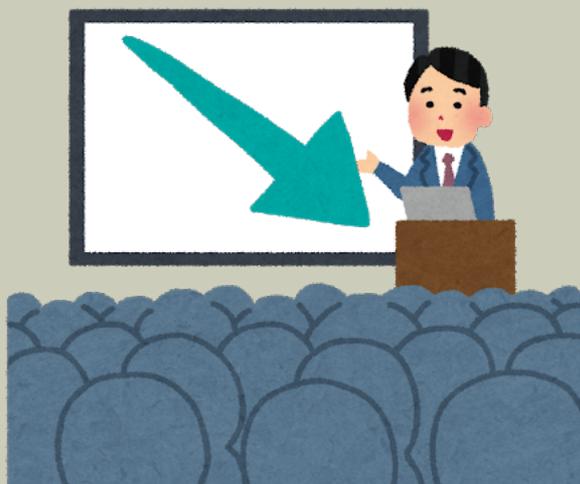
- タイトル
- ページ番号
- 文章ぎっしり

スライド → デザイン① | タイトルを入れる



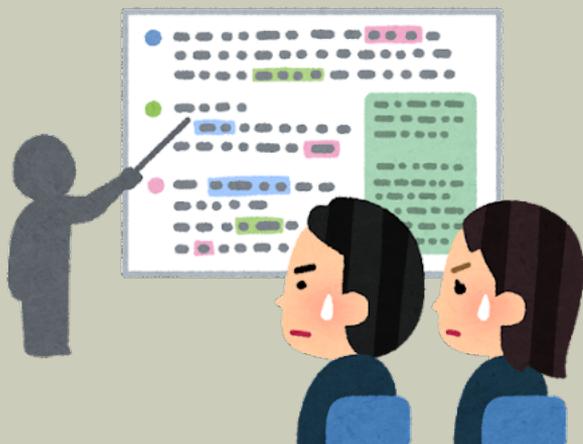
- 入れる位置は左上
- 内容は「何のスライドか」

スライド → デザイン② | ページの番号と枚数を入れる



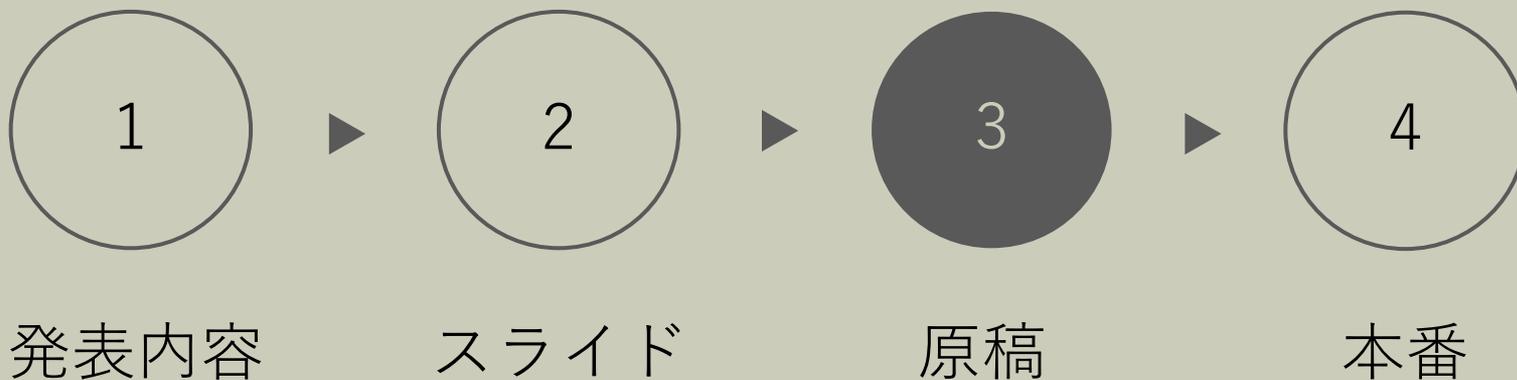
- 入れる位置は右下
- 発表の進捗状況がわかって安心

スライド → デザイン③ | 文章ぎっしりにしない



- 箇条書きなど表現を工夫する
- イラストや図表があれば◎

目次（再掲）



原稿① | 1分400字を目安にする



- 審査会では7分なので合計2,800字
- スライド1枚につき300～400字

原稿② | スライドの内容を話す



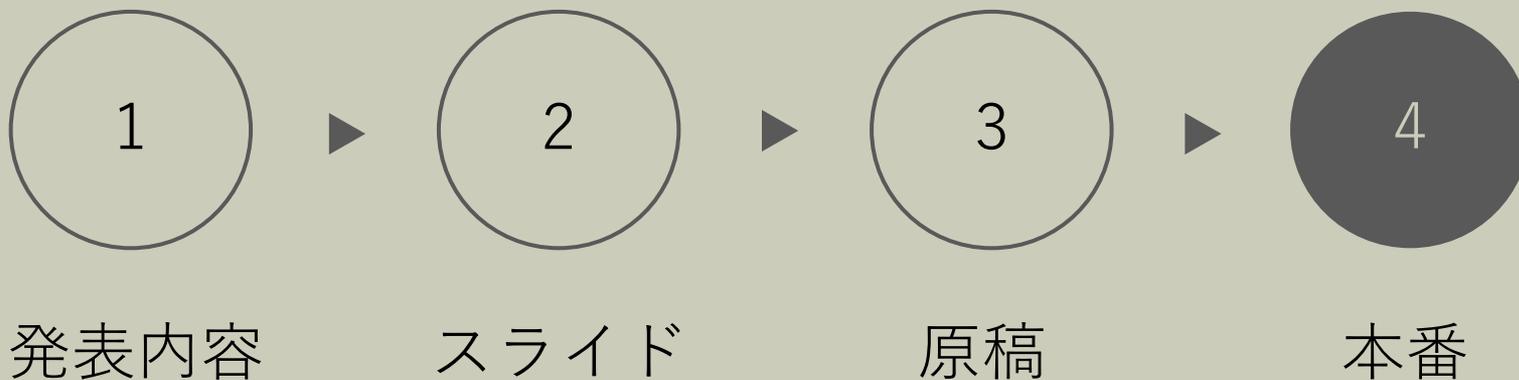
- スライドに書いてることを話す
- 書いてあることを話せば忘れない

原稿③ | 実際に読んでみる



- 時間内に終わるか確認する
- 読みにくい部分は直す

目次（再掲）



本番目次

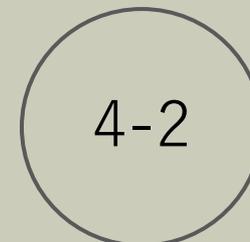


本番



発表

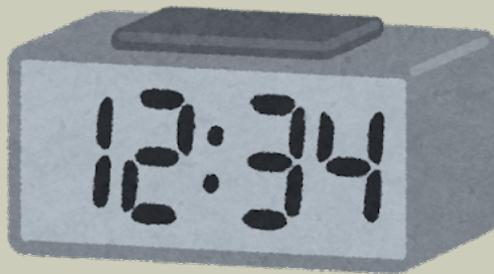
- 時間
- 服装
- 資料



質疑応答

- 結論
- 感謝
- 反論

本番 → 発表① | 時間を守る



- 発表時刻までに到着する
- 発表時間内に話し終える

本番 → 発表② | フォーマルな服装



- なるべく好印象を与える
- 男性であればスーツにネクタイ

本番 → 発表③ | 資料を使って話す

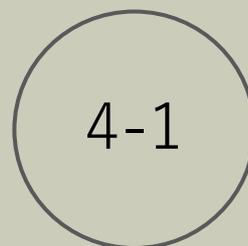


- スライドでも紙でもOK
- 資料があると準備してきた感じUP

本番目次



本番



発表

- 時間
- 服装
- 資料



質疑応答

- 結論
- 感謝
- 反論

本番 → 質疑応答① | 質問には結論から答える

結論



理由

- 結論を言ってから理由などを述べる
- 難しいケースもあるので無理せず

本番 → 質疑応答② | 質問や助言に感謝を示す



- 「ありがとう」から始めると好印象
- 相手の話したことを肯定できれば◎

本番 → 質疑応答③ | 反論は穏やかにする



- 否定されると悲しい気持ちになる
- 枕詞（例：実は私たちも当初は...）

まとめ

- 発表内容 内容は申請書そのままOK
- 構成 1分1枚を目安にする
- デザイン ページ番号と枚数を入れる
- 原稿 1分400字を目安にする
- 発表 時間を守る
- 質疑応答 質問や助言には感謝を示す